年間授業計画

杉並高等学校 令和7年度　　教科　地理歴史科　　科目　世界史探究

教　科：　地理歴史科　　科　世界史探究　　単位数：　3 単位

対象学年組：第　2 学年

教科担当者：　（ 3組:清水　4組:清水　6.7.8組:清水　）

使用教科書：　（ 山川出版社「詳説世界史探究」　）

教科　地理歴史科　　の目標

【知識及び技能】　現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けること。

【思考力、判断力、表現力等】　地理や歴史に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養うこと。

【学びに向かう力】　地理や歴史に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土や歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めること。

科目　世界史探究　　の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ・各地域の古代文明の歴史的特質を理解する。 ・各地域の王朝の支配体制や文化の特徴について、理解する。 ・各宗教が社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・考古学的資料をもとに、各地域の古代文明の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ・図像資料・資料をもとに各地域の王朝を多面的・多角的に考察し表現する。 ・仏教・キリスト教・ヒンドゥー教が成立した背景や原因を考察し表現する。 【学びに向かう力】 ・歴史的事象について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	文明の成立と古代文明の特質 中央ユーラシアと東アジア世界 南アジア世界と東南アジア世界の展開 西アジアと地中海周辺の国家形成	【知識・技能】 ・各地域の古代文明の歴史的特質を理解している。 ・各地域の王朝の支配体制や文化の特徴について、理解している。 ・各宗教が社会や周辺諸地域へ与えた影響を理解している。 【思考・判断・表現】 ・考古学的資料をもとに、各地域の古代文明の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 ・図像資料・資料をもとに各地域の王朝を多面的・多角的に考察し表現している。 ・仏教・キリスト教・ヒンドゥー教が成立した背景や原因を考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・歴史的事象について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	36
	中間考査			○	○	○	1
	期末考査			○	○	○	1
2学期	【知識及び技能】 ・イスラーム教の成立と拡大について理解する。 ・東西ヨーロッパ世界の形成と展開、変容を理解する。 ・10～12世紀の東アジア世界の再編、モンゴル帝国が社会に与えた影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地図や図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・図像資料・資料・写真などをもとに東西ヨーロッパ世界を多面的・多角的に考察し表現する。 ・図像資料や地図などをもとに、10～12世紀の東アジア世界の変容・モンゴル帝国の成立の世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力】 ・歴史的事象について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 イスラーム教の伝搬と西アジアの動向 ヨーロッパ世界の変容と展開 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	【知識及び技能】 ・イスラーム教の成立と拡大について理解する。 ・東西ヨーロッパ世界の形成と展開、変容を理解する。 ・10～12世紀の東アジア世界の再編、モンゴル帝国が社会に与えた影響を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地図や図像資料などをもとに、イスラーム教の成立が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・図像資料・資料・写真などをもとに東西ヨーロッパ世界を多面的・多角的に考察し表現する。 ・図像資料や地図などをもとに、10～12世紀の東アジア世界の変容・モンゴル帝国の成立の世界史的な意義を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力】 ・歴史的事象について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	37
	中間考査			○	○	○	1
	期末考査			○	○	○	1
3学期	【知識及び技能】 ・「世界の一体化」およびヨーロッパの海洋進出について動機や背景、経緯を理解する。 ・アジアの諸帝国の統治と社会の特徴を理解する。 ・ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立および、各国の関係の推移を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地図や図像資料などをもとに、「世界の一体化」が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・図像寺領などをもちに、アジアの諸帝国を比較し、特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ・図像資料や地図などをもとに、近世ヨーロッパ世界の動向を多面的・多角的に考察し表現する。 【学びに向かう力】 ・歴史的事象について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	大交易・大交流の時代 アジアの諸帝国の繁栄 近世ヨーロッパ世界の動向	【知識及び技能】 ・「世界の一体化」およびヨーロッパの海洋進出について動機や背景、経緯を理解している。 ・アジアの諸帝国の統治と社会の特徴を理解している。 ・ルネサンス、宗教改革、主権国家体制の成立および、各国の関係の推移を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地図や図像資料などをもとに、「世界の一体化」が社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 ・図像寺領などをもちに、アジアの諸帝国を比較し、特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 ・図像資料や地図などをもとに、近世ヨーロッパ世界の動向を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力】 ・歴史的事象について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。	○	○	○	27
	学年末考査			○	○	○	1
							合計 105